

廃棄物減量等推進員実地研修を実施しました！ (生野区・東成区合同)

平成27年11月27日（金）滋賀県湖南市にある東洋ガラス（株）滋賀工場へ生野区・東成区の推進員25名で工場見学をしました。

ガラスビンは、「地殻の組成」にもっとも近い容器と言われ、他の物質に変化せず、環境に対して安全で、さらに完全にもとの状態に繰り返し再生出来る等、大変優れた容器です。

東洋ガラスは、このビンの特長を生かし品質と付加価値の向上を図りつつ、リデュース（減量化：軽量ビン）、リユース（再使用：リターナルビン）、リサイクル（再生利用：ビンからビンへの再生）を推進し、地球環境を考えている工場です。

東洋工場職員によるガラスビンの原材料・製作過程・用途等の説明を熱心に聞く、生野・東成区の推進員の方々。（写真左）この後工場内を見学しました。

これからも推進員の皆様のごみ減量に取り組めるような実地研修を企画していきたいと思えます。



年末年始特別作業についてのお礼とご報告

平成 27 年 12 月 29 日（火）から平成 28 年 1 月 9 日（土）まで年末年始特別作業期間（正月 3 が日を除く）推進員の皆様のご理解・ご協力をいただきまして、ごみ収集業務を滞りなく実施でき、誠にありがとうございました。特別作業期間中、市民の皆様から色々なお問い合わせがありましたので、その一部をご紹介します。

《お問い合わせ》

年末年始ビラの見方が分りにくい。
（特に、容器包装プラスチック、資源ごみ、古紙・衣類が分らない）

ごみは何時に出せばいいか？
（収集時間がいつもと変わるので、出し遅れた人がいて、ごみが残ってしまった）

ごみ収集の途中で切り上げて行ってしまった。

「年末年始ごみ収集日程について」のビラが配られていない。

私たち環境事業センターが改善する事や皆様方に協力して頂く事など色々ございましたが、これからも地域のごみ収集が円滑に行われる様努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

《センターの対応》

普通ごみ収集は単独の表記でしたが、容器包装プラスチック、資源ごみ、古紙・衣類はまとめて表記してあったため、混乱された方がおられました。紙面に限りがありますが、市民の皆様に分りやすい表記になるよう努めてまいります。

年末年始はごみの量が増えるため、臨時で収集車を出し、ごみを完全に収集できる様に計画しております。そのため通常とは違う時間帯に収集する地域も出てきます。特別作業期間中は、朝 8 時 30 分までに出していただきますようご協力をお願いします。

年末年始はごみの量が大変多く、収集途中でも一度工場に搬入しないと、ごみを積み切れなくなってしまう事があります。必ずごみの残った場所から収集を再開しますので、ご理解いただきますようよろしくお願い致します。

生野区では「広報いくの」や大阪市のホームページにごみ収集日程を掲載しておりますので、ご確認いただけます。

また各連合町会のご協力をいただき各戸にビラの配付をお願いし、各連合町会の掲示板にもビラの掲示をしていただいております。さらに小学校近辺の広報掲示板にもビラを掲示しておりますので、よろしくお願い致します。

《編集・発行》

大阪市環境局 東部環境事業センター

大阪市生野区巽中1-1-4

TEL:06-6751-5311 FAX:06-6753-3041

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>